



学校評価だより

～最終自己評価～

令和7年2月 発行

珠洲市立宝立小中学校

令和6年度最終の学校評価として、児童生徒・保護者・教職員アンケートをもとに自己評価を行いました。また、学校関係者評価委員の方々に授業や行事を見ていただきました。先日の評価委員会での協議、また2学期末にとらせていただきましたアンケートの結果や自己評価の結果（裏面）も踏まえて、これまでの取組についてお知らせいたします。
また、次年度の取組の参考とし、教育活動を進めたいと考えておりますが、ご家庭にご協力いただくこともございますので、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

本校の教育目標

ふるさと宝立の自然や人に学び、たくましく生き抜く子の育成

目指す児童生徒像

◇確かな学力を身に付けた子（知育）

◇思いやりがあり心豊かな子（徳育）

◇健康・安全を育み守る子（体育・食育）

本校の重点目標

『自律的な学習者の育成』

重点目標



（１）よく考え、確かな学力を身につけた子の育成

（２）思いやりがあり心豊かな子の育成

（３）健康・安全を育み守る子の育成

（４）魅力ある学校づくりの推進

本年度重点事項



（１）学んだ知識を活用し、自ら考え、行動できる 見方・考え方を持った児童・生徒の育成

《結果・分析》

○授業では、教師が児童生徒に見通しをもたせるような工夫をして取り組んでいます。また、自律的な学習を促すために「目標設定」をさせて学習に取り組ませています。そのため、児童生徒も自分で考え、しっかりと課題解決に向けて取り組んでおり、「授業がわかる」と肯定的な回答が多いです。

【児生１・２，教Ⅰ－２・５】

○保護者から「授業がわかりやすい」という肯定的な回答得ています。

【保９】

▲家庭学習におけるＩＣＴ端末の効果的な活用について、教職員の回答は低いですが、後期には学校全体で取り組み、児童生徒の肯定的回答は高くなっています。

【児生－６，教Ⅰ－７】



《改善策》

◇児童生徒のアウトプット量を増やすことで、自分の考えを表現する機会を確保しています。

◇振り返る活動を計画的に取り入れ、児童生徒の理解に繋がります。

◇eライブラリーの課題を中心に週末課題として定期的に取り組ませています。



（２）自己管理能力、 自らコントロールする力の育成

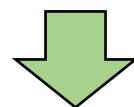
《結果・分析》

○挨拶を含めた「あいどる＋下足」、自問清掃に関する回答は、肯定的な回答であり、自主的に取り組んでいます。【児生１０・１３，保２，教Ⅱ－１・２・３】

▲インターネット機器に関する項目「機器を預けている」・「ルールを守っている」では、児童生徒、保護者ともに学年が上がるにつれて、「預けている」「守っている」の割合が低くなっています。

【児生１７・１８，保７・８】

▲上記に比例して、学年が上がるにつれて、睡眠時間も短くなっています。



《改善策》

◇スマートフォンの使い方について次年度も継続的に指導していきます。

◇メディア機器の使い過ぎによるデメリットについて各種通信や学活等の時間を通して、指導していきます。

◇「たからっ子我が家の約束」をしっかりと確認し、実践するとともに保護者と連携して改善に取り組んでいきます。



（３）体力向上の取組の充実

《結果・分析》

○学校全体として、適切に食習慣に関する指導が行われていることから、児童・生徒は好き嫌いなく給食を食べています。【児生１１，保４，教Ⅲ－１】

▲家庭での朝食摂取について、後期ブロックの割合がやや低いのが気になります。

【保４】

▲学年が上がるにつれ、睡眠時間が少なくなっています。後期ブロックでは、１２時以降に就寝する生徒も多くなっています。

【児生２０，保６，教Ⅲ－３】



《改善策》

◇就寝時刻が遅い児童生徒

は固定化され、朝食の欠食にもつながっているため、継続的に個別指導し改善を図ります。

◇睡眠の大切さ、食育の大切さについて計画的・継続的に指導する機会をつくり、行動化できるように支援します。

◇端末機器が生活の一部になっているため、自制できるように、保護者と連携して取組を進めます。次年度も継続的に行っていきます。



（４）学びを実感できる児童・生徒会活動の創造

《結果・分析》

○目的や計画性をもって行事や児童生徒会活動等に取り組む、さらに中身のある活動にしたいと努力する姿が見られます。そのため「学校が楽しい」と回答する児童・生徒がほとんどです。保護者アンケートも、「楽しそう」の回答率が１００％保護者でした。

【児生９，保１】

○教職員が事前に集会のねらいや目的を明確に示して指導しているため、各集会が計画的かつ円滑に開催されています。

【児生２１，教Ⅳ－３】

○地域の教材や人材を活用した授業や学習活動については、前期の反省を生かし、後期では、SDGsやふるさと珠洲科の発表会に向けて、大いに活用し、学習の成果も上がっています。

【教Ⅳ－４】



《改善策》

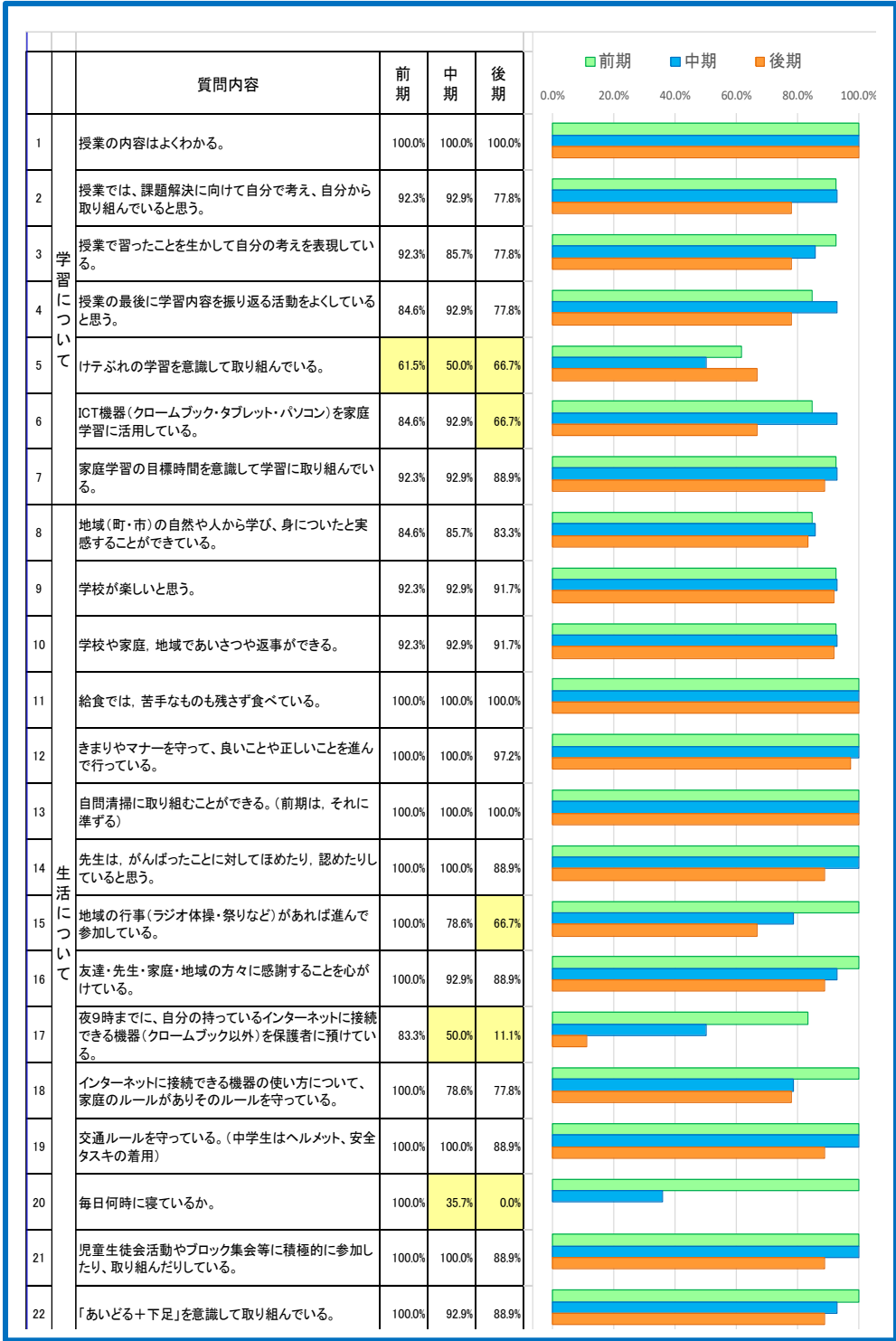
◇児童生徒会を主に、児童生徒の交流が深まるようなイベントの企画・運営を継続的に行っていきます。

◇児童生徒が、行事や活動に負担感を感じないように声掛けや助言を継続的に行っていきます。

◇本校で実施してきた活動を基本に、８月１０日開催の太鼓発表会のような行事に参加できるよう配慮し進めていきます。



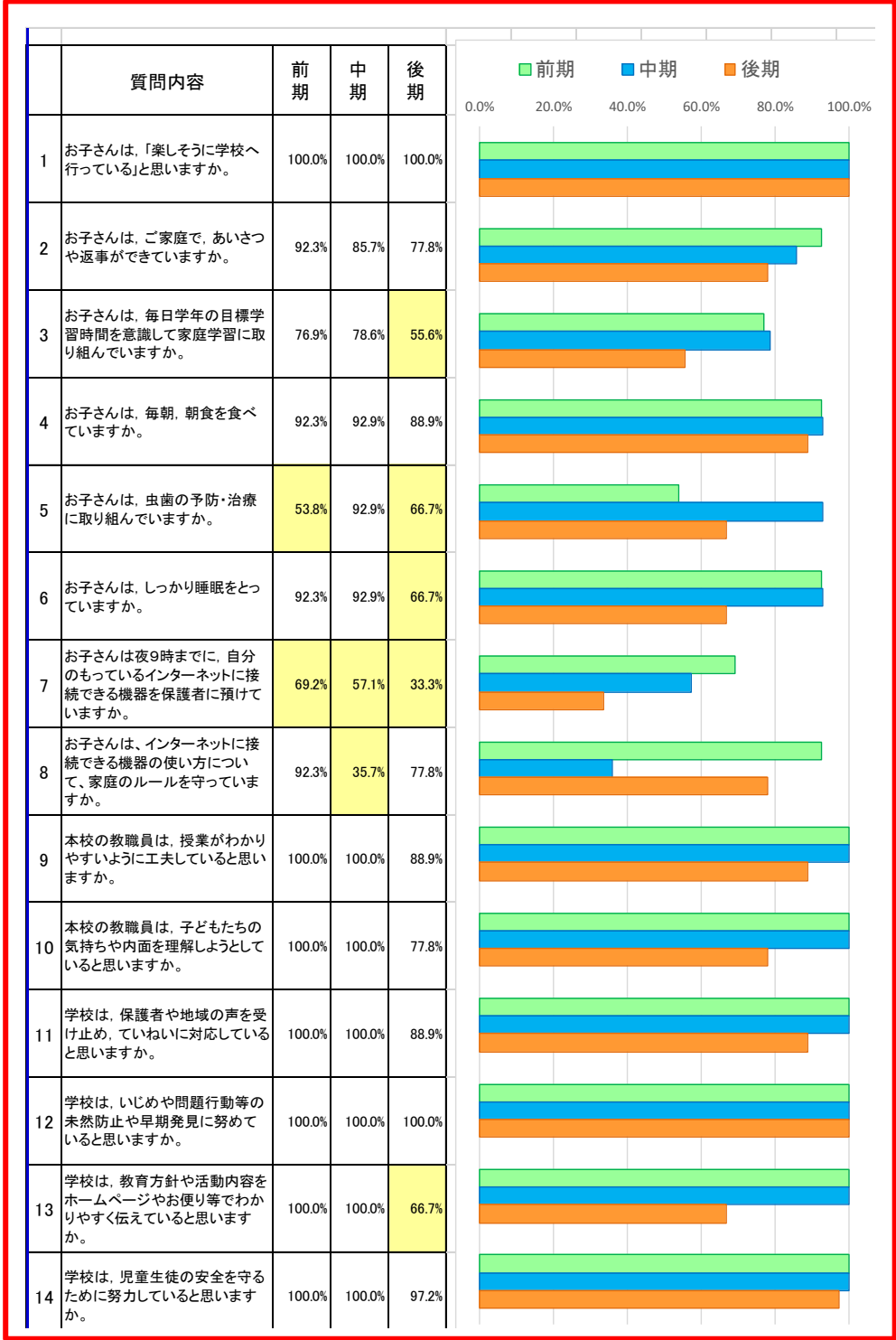
児童・生徒アンケート結果



肯定的に回答（４または３）した合計の割合を、判定基準の一つとして下記のように評価しています。また、C 評価の項目（黄色部分）については速やかに改善策を考え対応します。

- ☆児童・生徒アンケート A（前期・中期：85%以上・後期：80%以上）
 B（前期・中期・後期：70%以上）
 C（前期・中期・後期：70%未満）
- ☆保護者アンケート A（85%以上） B（70%以上） C（70%未満）
- ☆教職員アンケート A（85%以上） B（70%以上） C（70%未満）

保護者アンケート結果



【学校関係者評価委員からいただいた感想・意見】

- 授業を参観したが、集中して取り組んでいた。
○学習規律が守られ、良い姿勢で授業を受けていたと思う。
○小学生は、専科の先生に授業を受け持ってもらえるのが良いと思う。
○きちんと挨拶ができています。
○いじめのない学校が一番大事だと思う。
○ふるさと珠洲科の発表会がすばらしかった。
○インターネット利用時間に関して、保護者と連携し、睡眠時間の確保も含めて、改善に向かうといいと思う。
○グラウンド確保も含め改修工事が早く進むといい。

教職員アンケート結果



ありがとうございました。次年度の教育活動に向けて、これらの結果やご意見を踏まえ、学校全体で共通理解を図り、よりよい学校づくりをめざします。今後ともご協力お願い申し上げます。